119th Kansai University

第 325 号

平成17年(2005年) 4月1日

関西大学通信

THE KANSAI UNIVERSITY NEWS

関西大学広報委員会
〒564-8680
大阪府吹田市山手町3-3-35
TEL 06-6368-1121（代表）
http://www.kansai-u.ac.jp/

新しい感性とエネルギーに期待

関西大学学長

河田　悌一

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。

千里鶯ないて緑が紅に映ずる、桜花爛漫の候、新入生の諸君は、今日から119年の歴史と伝統を有する関西大学の一員になられました。私は第38代の学長として、みなさんを関西大学に迎えることを、心からうれしくかつ光栄に思っています。なぜなら、関西大学の伝統の灯は、新しい感性とエネルギーをもった若い世代のみなさんの力によって、継承していってもらわねばならないからです。

21世紀の現在、日本そして世界は大きな転換期にあります。国境を越えた経済の国際化と情報化が進み、一つの国、地域で起こった出来事は、他の国や地域にすぐさま波及していきます。拉致事件、米国での同時テロ、イラクにおける戦争、インド洋での大津波さらには環境破壊による地球温暖化など、多くの問題が地球規模で影響をあたえ、私たちの日々の生活にその影をおとしています。

すなわち、これまで考えられなかったような出来事、事件、問題が次々に出現している今日。まさにそんな大変な時代に、みなさんは関西大学に入学してこられました。

いわば従来のすべてのものの価値が、そのあり方を問い直されるべき時代に、現在はあるのです。何が真実で、何が正しいのか。平和とは、幸福とは何なのか――。

だが、考えようによっては、既成のものを新しい視点、若い目で見直すことができる、みなさんの時代がはじまろうとしているのかもしれません。そして、その時代を確かな時代にするためには、今日からはこの大学において、幅広い教養を身につけ、情報機器をつかって知識と知恵を獲得し、専門的学問を修める必要があります。これまでのように断片的な知識をペキンダックのように詰めこむのではなく、自分の頭で考えねばなりません。

孔子はこう言っています。「学びて思わざれば則ち罔(くら)し。思いて学ばざれば則ち殆(あやう)し（知識や情報をたくさん得ても考えなければ明確にならず、考えるだけで知識や情報を得なければ独断におちいり危険だ）、と」。

みなさんは、今日から４年間、関西大学での学生生活――勉学、ゼミナール、クラブやサークルでの文化・スポーツ活動、ボランティア、インターンシップなど――を通じて、多くの経験を積み、さまざまなことを学び、思索して、自分の意見を堂々と述べることができるようになって欲しいと思います。

そのためには、まず心理的な親離れが必要です。

ひとりの自立した人間として、健全でバランス感覚をもった、そしてなにごとにも積極果敢に挑戦する〝関大人〟に成長していって欲しい。これがみなさんの関西大学入学にさいして、私の希望することであります。

「求めよ。さらば与えられん」。私たち教職員は、みなさんがこの大学で大きく立派に成長して社会に旅立っていかれるため、全力をあげて支援する覚悟です。

HEADLINE

2面　関西大学中長期戦略体制を構築
3面　新任教員紹介
4・5面　特集　ITセンターを使いこなそう
7面　新入生特別歓迎行事
8面　課外活動よりどりみどり

千里眼

歳前後の学生のみなさんにはわかるまい▼学生の頃には手が届かなかったCDも今なら買える。自分に合った勉強方法は、英語の学習を通じて会得しているつもりだ。大好きな曲を聴くように繰り返しスキットに耳を傾ける▼語学にはつきものの、さまざまな規則とその例外に悩まされながら勉強していると、経済学の勉強を始めたばかりの頃に浮かんだ数え切れない小さな疑問を思い出す。経済学では生産活動を描写する際に、生産に用いる要素として、「労働力」と「資本」の二つを当たり前のように用いるが、これがさっぱりわからなかった。原材料は必要ないのだろうか？　そもそも、資産や「資金」とどう違うのか▼こうした疑問を遠慮なく先生にぶつけていたら、もっと効率良く勉強できただろうに、と悔やまれる。でも私の学生時代に比べると、素直に疑問を口にする学生が多い気がするのは嬉しいことだ。

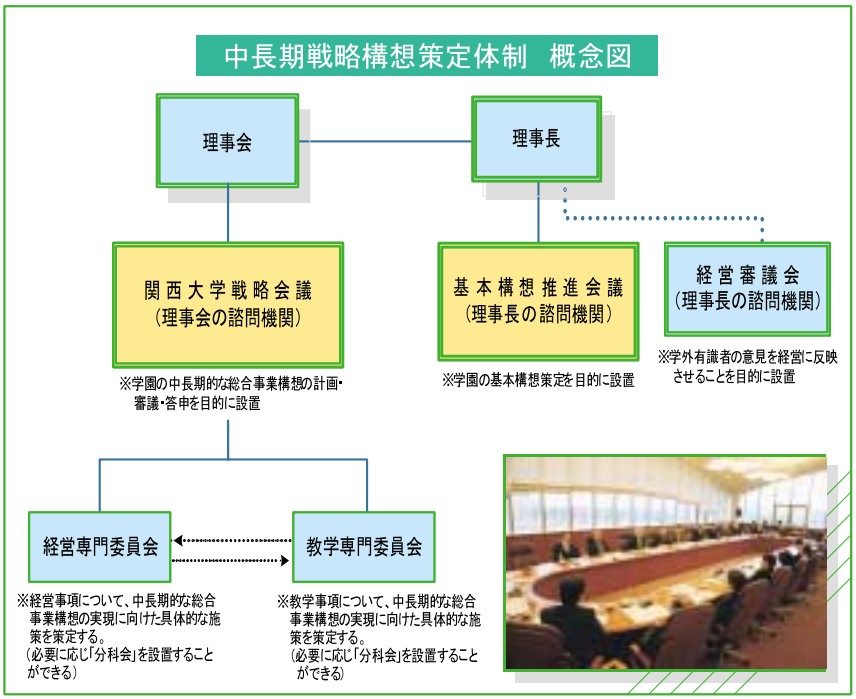
（本西　泰三）

必要があって中国語を習い始めた。一から新しいことを学ぶのは十五年ぶりだ。これがどんなに新鮮な気分か、二十

関西大学中長期戦略体制を構築

―強い関西大学の創造をめざして―

理事長
森本靖一郎



夢と希望のユニバース(宇宙)

新入生のみなさんは、これから始まる四年間の学生生活について、様々なストーリーやデザインを思い描いていることでしょう。

本学は、「夢と希望のユニバース(宇宙)」であり、みなさんが目標に向かって全力投球していけば、探し求めるものが必ず見つかります。本当に学ぶ意欲があれば、これほど恵まれた環境は類まれと言えます。多彩な専門分野と豊富なカリキュラムを有する総合大学であり、図書館、博物館等の施設、IT環境等の先進の設備は、決して使い尽くすことができないほど充実しています。ソフト面、サービス面においても様々な活動が至る所で展開されています。

「入学してよかった」と、必ずや思っていただける大学である、と確信しています。

中長期戦略構想策定体制を新たに発足

しかしながら、現状に満足しているわけでは決してありません。私立大学を取り巻く環境は、「競争と評価」が求められる極めて厳しい時代となっております。

このような環境のなかでは、各大学がそれぞれの建学の理念、これまで培ってきた伝統をふまえて、戦略をもって主体的・機動的に将来構想を構築し、教育・研究機関として社会全体にどのような貢献をしていくかについての明確なビジョンを打ち出し、その独自の存在意義を社会に強く訴えていかなければなりません。

なかでも、スピード感あふれる教育改革を展開しなければ、社会から淘汰されてしまいます。

学校法人関西大学は、このような現状認識のもと、新たな時代を切り拓いていくための中長期戦略構想策定体制を構築し、推進しています。

新体制の概要

この体制は、私立学校法の五十年ぶりの大幅改正を受け、理事会と理事長の権限・責任を明確にするとともに、経営と教学が一体となり、理事会・教員組織・事務組織の三者が十分な意思疎通を図り、理事会の経営方針と教職員個々人の経営意識とのギャップを埋められるように、法人の中長期構想を日常的に審議し策定する全学体制を構築するものです。

概念図に示すように、関西大学戦略会議、基本構想推進会議および経営審議会が柱となります。

①基本構想推進会議は、最高執行責任者である理事長の諮問機関として、学園の基本構想を策定し、理事長に答申します。理事長は、基本構想推進会議の答申を受けて、理事会へ基本構想を上程します。理事会がそれを受けて審議のうえ、「基本構想に基づく中長期的な総合事業構想の計画」について、関西大学戦略会議に諮問します。

②関西大学戦略会議は、最高意思決定機関である理事会の諮問機関として、高邁な理念に基づき、かつ、着実な財政的展望に裏付けられた中長期的な将来構想を立案・計画・審議・決定することを任務としています。

③経営審議会は、理事長の諮問機関として設置され、外部の有識者の参画を広く求め、経営にその知見を活かすことにより、法人の運営に対して学外の意見を積極的に反映させることを目的とします。

この体制が実現したことにより、意思決定プロセスの迅速性、透明性が確保され、社会に対する説明責任を果たすことが可能となりました。

学生と共に成長し続ける大学

すでにご存知のとおり、二十一世紀における学校法人関西大学の試金石とも言えるビッグプロジェクト「関西大学新キャンパス構想」も始動いたしました。

この構想は、本学の将来像と新たな社会貢献の視点から、超高層ビルを中心とする同一キャンパス内で、幼稚園・小学校から大学院までの一貫教育、さらには社会人教育まで実現しようという、恐らくは世界で初めての意欲的なプロジェクトです。このキャンパスでは幼稚園から大学院までの教員が相互に連携して、グローバルに活躍できる人材の養成を目指します。幼稚園から英語の授業を取り入れるなど、語学教育を徹底して行います。

本学の理念である「学の実化(がくのじつげ)」すなわち理論と実際との調和を旨とする、実学教育に力点を置きたいと考えています。

当然のこと、既存のキャンパスについても、改革の必要性を充分に認識しております。

これからは、この戦略体制をもとに、学生とその保護者の要望、卒業生の意見、社会からの要請を充分に吸収して、全学が一体となって努力し、目に見えて実感していただけるスピーディな改革を実現していきます。

新入生のみなさんが自己実現に向かって努力し、成長していくように、関西大学もリアルタイムで発展し続けます。

みなさんが卒業するとき、「この四年間で自分たちも見違えるほど成長したけれど、大学も変わったな」と思われることでしょう。そのダイナミズムの源泉はもちろん学生のみなさんです。

「関大を卒業してよかった」と、心から喜んでいただけるように、「あらゆる面で、強い関大」の実現に向かって邁進いたします。

本学の個人情報保護への取り組み

高度情報通信社会の急激な進展により、情報システムによる個人情報が大量かつ迅速に処理される時代となり、それとともに個人情報の保護が社会的に重要な課題となっています。

学校法人関西大学および法人が設置する学校(以下「本学」という)では、以下の個人情報保護方針のもとに、情報化社会における教育機関としての責務を果たします。

〈個人情報保護方針〉

1基本方針

基本的人権の尊重とプライバシー保護の観点から、個人情報の適切な利用と保護は極めて重要です。よって、本学の業務に従事するすべての者は、各種法令および関西大学個人情報保護規程(以下「規程」という)を遵守し、個人情報を正確かつ安全に取り扱うことにより、個人の権利利益を保護し、社会の信頼に応えます。

2活動方針

基本方針を具体化するために、以下の活動を行います。

▼個人情報の収集、管理、利用および提供にあたっては、その目的を明らかにし、使用範囲を目的内に限定し、安全かつ適切に取り扱います。

▼個人情報への不正アクセス、個人情報の紛失、破壊、改ざんおよび漏えいなどの予防に万全を期すとともに、そのリスクに対しては速やかに是正措置を講じます。

▼本学は個人情報保護委員会と個人情報保護管理者を置き、適正な個人情報の運用管理体制の下で、業務に取り組みます。

▼本学の業務に従事するすべての者は、個人情報に関する法令およびその他の規範を遵守します。また、その責務の重要性を認識し、具体的な保護措置を習熟するため、必要な教育および研修を行います。

〈問い合わせ窓口〉

在学生：学事課
☎06-6368-0111
卒業生：校友会事務局
☎06-6368-0045

新役職者紹介

先端科学技術推進機構長
大場　謙吉

バイオメカニクスの第一人者

大場教授が、引き続き先端科学技術推進機構長に就任することになった。平成十三年度に旧工業技術研究所の所長に就任して以来、研究組織の改組改編を次々と実行に移し、ハイテク・リサーチ・センター、学術フロンティア・センター、産学連携研究センターおよび医工薬連携研究センターを擁する先端科学技術推進機構を作り上げた。

また、研究成果を知的財産化し社会に還元していく知的創造サイクルの実現にも取り組んできた。これらの取り組みが、本年四月に設置された産学官連携・知財センターおよび地域連携センターを傘下に置く社会連携推進本部の設立につながり、その改革を推し進めた中心人物が大場教授である。日本におけるバイオメカニクスの第一人者のみならず、優れた洞察力と行動力を併せ持った教授は、本学の科学技術研究戦略に対して、強力なリーダーシップを発揮するものと思われる。

三期目となる今期の更なる活躍が期待される。

東西学術研究所長
橋本　征治

広い視座をコンパスに

橋本教授は、広範な人文地理学のなかでも特に村落の社会地理学的な研究と地誌学を専門とする。日本各地の農山村に関する精緻な現地調査と分析をする一方で、南アジア地域や太平洋諸地域にも研究領域を拡大してきた。メラネシア諸地域を対象とした村落社会の社会・経済構造の多面的な調査研究、日本の南西諸島と台湾やハワイ諸島などに視座を広げた比較農耕文化論研究などは、内外の地理学分野のみならず文化人類学などの隣接分野からもきわめて高い評価を受けている。

また本学とハワイ大学との共同研究チームを組織して、太平洋地域における現代社会と環境・開発・文化に関する総合的研究の集大成にも卓抜した指導力を発揮した。厳密なフィールド調査に立脚した実証的な研究姿勢と温厚篤実な人柄があいまって、東西学術研究所は一層の充実と発展のためのコンパスを得たことになる。

法学研究所長
孝忠　延夫

アジアに向かう眼差し

憲法学の視点から議会政研究を進め、日米英独の比較憲法的研究である『国政調査権の研究』(法律文化社、平成二年)により学位を取得。『インド憲法』(関西大学出版部、平成四年)以降は、非西欧における立憲主義という問題系に精力的に取り組む。「アジア法学会」の設立(平成十五年)に尽力し、理事を務めるとともに、科学研究費補助金を受けた「アジアにおけるマイノリティの法的地位をめぐる諸問題」の研究代表者であり、その眼差しはアジアに向かう。厳しく筋を通すが、細やかな配慮を忘れない人である。

平成十五年四月に法学研究所長に就任したが、法学部長に選出され、やむなく半年で辞任。だが、この短い任期中にも、東西学術研究所との共催による公開講座「東西の出会い、緊張、そして融合―イスラームの『平和』とイラク―」など時宜を得た企画を準備した。ここに二か年の任期を得て、かねてより温めていた構想を着実に実現に移していくことになるだろう。

新任教員紹介

法学部

教授　笹本　幸祐

平成七年本学大学院法学研究科博士課程後期課程単位修得後退学。福岡大学、西南学院大学を経て、本学に着任。専攻は商法学。保険法を中心に研究を進めている。

専任講師　永田　憲史

平成十七年京都大学大学院法学研究科博士課程を終え、本学に着任。専攻は刑事学。刑罰理論に関する造詣が深く、犯罪者処遇の医療的側面にも守備範囲を広げる予定。

文学部

教授　竹内　洋

京都大学大学院博士課程退学後、本学社会学部に着任。その後京都大学に移り、本学に再来任。専攻は教育社会学。教育学博士。著書には『日本のメリトクラシー』など多数。京都大学名誉教授。

助教授　若林　雅哉

京都大学大学院修了。博士(文学)。京都工芸繊維大学講師から本学文学部へ。専門は美学、芸術学、演劇学。作品概念や翻案の問題を中心に、演劇の理論や実践について幅広く研究。

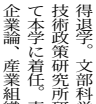
助教授　森部　豊

愛知県出身。筑波大学大学院修了。筑波大学助手等を経て着任。専攻は東洋史学、シルクロード学。中国唐代から五代に興起したソグド人等の活動を研究。

専任講師　菅原　慶乃

昭和四十九年北海道生まれ。大阪大学大学院言語文化研究科博士課程修了。博士(言語文化学)。専門は東アジア中華圏の映像文化。北京電影学院に留学二年。趣味はカメラと温泉巡り。

経済学部



助教授　古賀　欽久

東京大学経済学部卒業。一橋大学大学院経済学研究科博士課程単位取得退学。文部科学省・科学技術政策研究所研究員を経て本学に着任。専攻は中小企業論、産業組織論。

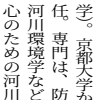
専任講師　田村香月子

平成十五年大阪市立大学大学院経営学研究科博士課程を終え本学に着任。アメリカにおける格付の発展をテーマに論文等数編を発表し、経営学博士号取得。専攻は証券市場論。

商学部

教授　中邑　光男

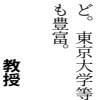
神戸市外国語大学大学院修了。レンスラー工科大学大学院修了。専門はビジネス英語、英語表現。著書は『基礎から学ぶ英語ビジネス・ライティング』『ジーニアス和英辞典』等。



教授　石垣　泰輔

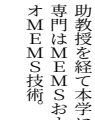
昭和五十二年京都大学大学院工学研究科修士課程修了。博士(工学)。京都大学から本学へ着任。専門は、防災水工学、河川環境学など「安全・安心のための河川防災と環境保全」。

工学部



教授　岡田　芳樹

京都大学大学院工学研究科博士課程を経て、昭和六十二年より理化学研究所に勤務。専門はナノ粒子工学で、ナノ粒子の合成、計測、物性制御など。東京大学等での教育歴も豊富。



教授　新宮原正三

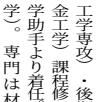
昭和五十五年東大卒業後、東工大応用物理学専攻を修了、理学博士。東芝ULSI研究所に入社。その後広島大学工学部助教授を経て本学に着任。専門はMEMSおよびバイオMEMS技術。

教授　山本　幹

昭和六十三年大阪大学大学院工学研究科博士後期課程修了。工学博士。大阪大学助手、助教授を経て本学に着任。専門は情報通信工学。次世代インターネットの研究に従事。

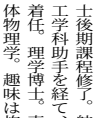
助教授　鶴田　浩章

平成五年九州大学大学院工学研究科修士課程修了。九州大学博士(工学)。専門は材料界面工学。



専任講師　春名　匠

大阪大学工学部冶金工学科卒業。同大学院博士前期課程(金属材料工学専攻)・後期課程(冶金工学)課程修了。大阪大学助手より着任。博士(工学)。専門は高分子材料物性。著書『総説エポキシ樹脂』(分担執筆、エポキシ樹脂技術協会編)。

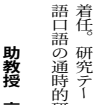


助教授　淺川　誠

平成二年本学工学部卒業。平成七年大阪大学大学院博士後期課程修了。京都大学大学院理学研究科助手、大阪大学大学院工学研究科博士後期課程修了。博士(工学)。専門は流体物理学。趣味は旅。

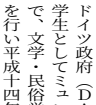
教授　玄　幸子

大阪府出身。昭和五十七年大阪市立大学文学部卒。昭和六十三年奈良女子大学大学院(博士課程)満期退学。新潟大学人文学部助教授を経て本学に着任。研究テーマは、中国語口語の通時的研究。



専任講師　板野　智昭

大阪府出身。京都大学大学院工学研究科博士後期課程修了。博士(工学)。専門は建設材料学、コンクリート工学。何事にもチャレンジ精神旺盛。



助教授　高　明均

韓国外国語大学大学院博士課程修了。専攻は朝鮮語学で、学位論文は「十七世紀国語対立語研究」。国際教育振興院(ソウル)で在外韓国人に対する朝鮮語教育に従事してきた。

助手　原田美由紀

大阪生まれ。平成十七年三月本学大学院工学研究科博士後期課程修了。

外国語教育研究機構

専任講師　柏木貴久子

昭和六十三年立教大学文学部卒。その後ドイツ政府(DAAD)奨学生としてミュンヘン大学で、文学・民俗学等の研究を行い平成十四年Th・マンの作品に於ける食文化行動のテーマで博士号取得。

助教授　占部　洋之

神戸大学大学院法学研究科博士課程を経て、平成八年より大阪学院大学法学部に奉職。専門は民法で、主として債権担保法制について、ドイツと日本との比較研究を行っている。

法科大学院

大学人事

四月一日付で次のとおり昇任の発令があった。

▼法学部▲
助教授　伊室亜希子

▼文学部▲
教授　二階堂善弘
〃　藤田　高夫
助教授　森　貴史
〃　山ノ内裕子

▼経済学部▲
教授　谷田　則幸
〃　李　英和
助教授　清水　崇
〃　橋本　理

▼社会学部▲
助教授　山口　誠

▼総合情報学部▲
助教授　谷本　奈穂
〃　石川　正司
教授　坂野　昌弘
〃　田村　裕
〃　棟安　実治
〃　村中　徳明
〃　泉井　力
〃　木下　光
〃　齋藤　賢一
〃　下家　浩二
〃　原　直也
〃　牧平　憲治
〃　村山　憲弘
〃　矢野　将文

▼工学部▲
教授　坂野　昌弘
〃　田村　裕
〃　棟安　実治
〃　村中　徳明
〃　泉井　力
〃　木下　光
〃　齋藤　賢一
〃　下家　浩二
〃　原　直也
〃　牧平　憲治
〃　村山　憲弘
〃　矢野　将文

▼外国語機構▲
教授　高橋　秀彰
助教授　鼓　宗

新職員

企画調査課　木村真理子
広報課　浦上　祐希
秘書課　吉見　淳子
人事課　原　一代
エクステンション・リードセンター事務室　熊澤　佳織
財務課　津村　武宏
高中幼事務室　稲田有紀子
商学部事務室　越智慎之助
工学部事務室　佐地菜保美
〃　渡辺　昭江
総合情報学部事務室　川瀬　良
学生生活課　松田　武晃
キャリアセンター事務室　土井　康順
学術資料課　新谷大二郎

新刊の扉

『工学倫理の諸相　エンジニアリングの知的・倫理的問題』
(平成十七年二月二十八日・ナカニシヤ出版・定価二千六百二十五円〈税込〉)
社会学部教授　齊藤了文ほか編

特集 ITセンターを使いこなそう

Information Technology Center

新入生ならきっと気になるパソコンの「？」に答えます

新入生のみなさん、入学おめでとうございます。本学にはITセンターが運用するパソコン約500台のほか、各学部が独自に運用するパソコン教室のパソコン、図書館の蔵書検索用やキャリアセンターの就職情報検索用パソコンなど学内各所に約7000台のパソコンが設置されています。

これらのパソコンを存分に活用し、勉強はもちろん、興味のあることについてより深く、より広く知識を吸収して充実した大学生活を送ってほしいとの熱い思いをこめて、この特集記事を企画しました。　(ITセンター)

どこにあるの？ どんなパソコン？

ITセンター４階（オープンPCコーナー：パソコン116台、プリンタ10台、デジタルメディアPCコーナー：パソコン６台、プリンタ２台)、サテライトステーション（パソコン139台、プリンタ10台)、および各学舎（第１～第４ステーション：パソコン計250台、プリンタ計24台）で利用できます(IT_mapを参照)。すべてデスクトップ型のパソコンです。

◆代表的なパソコンの仕様（設置場所により異なります）

OS：Windows XP Professional Edition　CPU：Pentium4/1.7GHz～2.8GHｚ　メモリ：256MB～512MB
CD-ROMドライブ、3.5インチFDドライブ、MOドライブ（640MB～1.3GB）
USB端子付ですので、USBメモリも利用できます。

※ ITセンター４階の「持込PC用カウンター」では持参したノートパソコンを接続してネットワークにアクセスできます。
※スピーカーは付属していません。音声を聞くにはイヤホン、ヘッドホンを持参してください。

利用者IDとパスワード？

新入生には入学と同時に個別の「利用者ID」が付与されます。「利用者ID」は卒業するまで有効です。利用者IDとともに「初期パスワード」も付与されますが、初期パスワードは最初にパソコンにログオンするためだけのものという認識で使用します。ログオン後は自分にしかわからないパスワードに必ず変更してください。電子メールや学外ホームページを利用する場合、パスワードの有効期間は登録・変更後90日間です。
※利用者IDは「在籍確認票」の"ITセンター利用者ID"欄に記載されています。
※初期パスワードはランダムな英数字８文字です。「パスワード通知書」でお知らせします。

どんなソフトが使える？

Word（文書作成)、Excel（表計算)、PowerPoint（プレゼンテーション)、Access（データベース)、ホームページビルダー（ホームページ作成)、Internet Explorer(Webブラウザ)、SPSS（統計解析)、Active! mail(電子メール)などのソフトウェアがインストールされています。レポート作成、自学自習、情報検索などの用途で利用できます。
※インストールされているソフトウェアの構成は設置場所により異なります。

Webメールだから、どこでもメール！

大学で使える電子メールは「Active! mail」というWebブラウザ上で動くWebメールです。Webメールは、インターネットに繋がっているパソコンがあれば自宅からでも、あるいは海外からでもWebブラウザを通していつでも、どこでも自由にメールの送受信をすることができます。
※電子メールの使用、学外ホームページの閲覧には「電子メール・学外Web利用申請」が必要です。学内のパソコンから利用者IDと初期パスワードでログオンし、ITセンターホームページのWeb上で申請できます。なお、申請には情報リテラシに関する簡単なテストが含まれます。

席は空いてる？

ITセンターでは利用者サービスの一環としてITセンター４階オープンPCコーナーとサテライトステーションの「パソコン空席情報」をホームページや携帯電話からリアルタイムでチェックできるようにしています。ITセンターでパソコンを使おうと思い立ったらまず携帯電話で空席の状況を確認してみてください。またオープン日時については当月と来月まで確認できます。
※携帯URL → http://www.ipcku.kansai-u.ac.jp/Calendar/Vacancy/ [i-mode、Vodafone live!、EZweb に対応]

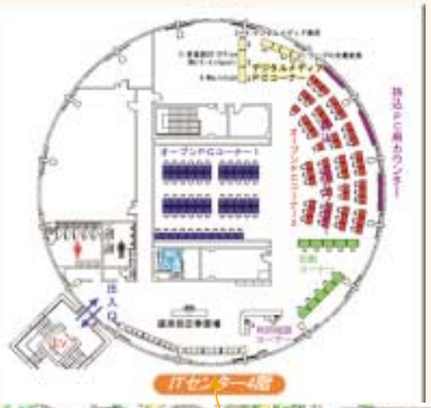
新入生向けのパソコン講習は？

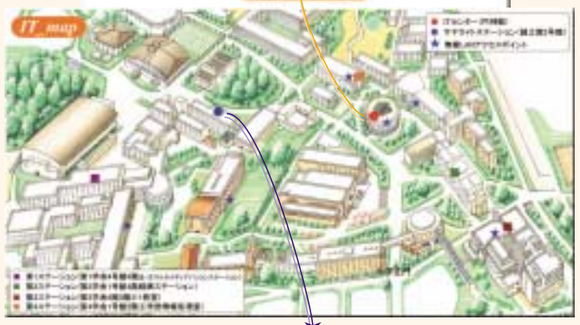
ITセンターではパソコン利用に関して下表のような講習を開催します。自分のレベルにあった講習を受講してパソコンの利用に役立ててください。

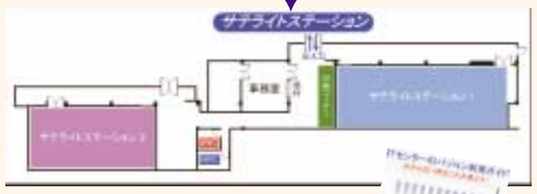
下表の講習の他にもネットワークやサーバに関する講習、マルチメディア関連の講習も開催しています。詳しくはITセンターホームページを参照してください。
※ ITセンターのパソコンは全学の構成員が共同で利用するためのものです。自宅などで使用するパソコンとは使い方が異なる部分があります。講習ではそのような点についても説明します。
※ 複数回開催する講習の内容は、すべて同一のものです。都合のよい日時を申し込んでください。
※ 講習の受講は任意です。受講申し込みはITセンター２階システム管理課で受け付けています。

平成17年度　ITセンター講習日程

講習名	開催日・時限	開催場所	定員	講習概要
パソコン初心者コース	①４月　７日(水)２限 ③４月１２日(火)３限 ③４月１８日(月)４限 ④４月２７日(水)２限 ⑤５月１１日(水)３限 ⑥５月１７日(火)４限 ⑦５月２６日(水)２限 ⑧６月　１日(水)３限 ⑨９月２８日(水)４限	サテライトステーション2 （誠之館2号館）	30人	初めてパソコンを利用する人が対象です。パソコン操作の基本や情報リテラシ、ネチケット、パスワードなどについて解説・実習をします。講習の後半では電子メールの使用、学外ホームページを閲覧するために必要な「電子メール・学外Web利用申請」について申請手順の説明後、各自で利用申請をすることになります。
パソコン基本コース	①４月　８日(金)２限 ②４月１３日(水)３限 ③４月１９日(火)４限 ④４月２８日(木)２限 ⑤５月１２日(木)３限 ⑥５月１８日(水)４限 ⑦５月２７日(金)２限 ⑧６月　２日(水)３限 ⑨９月２９日(木)４限	サテライトステーション2 （誠之館2号館）	30人	「電子メール・学外Web　利用申請」で利用申請済みの人が対象です。Webブラウザ（Internet　Explorer）の閲覧、電子メール（Active!　mail）の送受信などの基本操作について解説・実習します。
パソコン活用コース	①４月２０日(水)４限 ②５月１３日(金)２限 ③５月１９日(水)３限 ④５月３０日(月)４限 ⑤６月　３日(金)２限 ⑥６月　７日(火)３限 ⑦９月３０日(金)４限	サテライトステーション2 （誠之館2号館）	30人	初心者コース、基本コース受講済みの人や基本的なパソコン操作のできる人が対象です。Webブラウザ（Internet Explorer）や電子メール（Active! mail）などをもっと有効に利用する方法など、必ず役立つパソコン活用法を紹介します。







問い合わせ

ITセンター（円神館）２階 システム管理課まで問い合わせてください。

☎内線 4448
外線 06-6368-1172
http://www.ipcku.kansai-u.ac.jp/
(携帯URLも同じです)

この画像はQR(Quick Response)コードです。バーコードリーダー(QRコード)対応のカメラ付携帯電話で画像を読み取ることでURLを文字入力せずに直接携帯サイトにアクセスできます。
(QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。)

無線LANは使える？

千里山キャンパス各所に無線LANのアクセスポイントを設置しています。自分のノートパソコンで電子メール利用やインターネットの閲覧もできます（IT_mapを参照)。
高槻キャンパスではE棟（教室棟）地下1階コミュニティルームで利用できます。
※ 無線LAN利用について　URL→ http://www.ipcku.kansai-u.ac.jp/Campus/Network/Edu-lan/wireless.pdf

ネットワークのスピードは？

ネットワークのスピードは、１Gbpsから100Mbps(無線は54Mbps)です。この速度は、ADSL(電話線利用)より高速な光ケーブル接続(ベストエフォート型100Mbps)と同等の速度です。この高速ネットワークを学内では教育・研究目的で利用することができます。

パソコン操作でわからないときは？

パソコンを利用していると、使い方などいろいろ疑問がでてくるものです。特に初心者は、何から何までわからないことも少なくないでしょう。そんな疑問に答えられるように、ＩＴセンターでは利用相談員がいつでも待機しています。利用相談員は、本学の在学生の中から実技審査と面接によって選ばれた優秀なスタッフです。みなさんの先輩ですから気軽に質問してください。利用相談員の腕章が目印です。どんな世界でもよく知っている人に聞いた方がわかりやすいものです。本などでは知ることのできないようなことを、分かりやすく教えてくれるかもしれません。
また、ITセンターホームページではWord、Excel、PowerPointなどのソフトウェア「解説ビデオ」やITセンター開催の「講習ビデオ」などをストリーミングサーバで配信しているので、パソコンを操作しながら好きな時に視聴して、操作方法を学習することができます。
※ URL→ http://www.ipcku.kansai-u.ac.jp/DigitalLibrary/ （学内からのみアクセスできます）

more ITセンター

ITセンターではパソコンの管理・運用のほかに次のような業務を行っています。

ネットワークシステム

関西大学のネットワークは千里山キャンパス～高槻キャンパス間を１Gbpsで、各キャンパス内を100Mbps～１Gbpsで結んでいます。大学外とは「スーパーSINET」と１Gbpsで接続しているほか、複数の商用プロバイダとも接続しており、ファイアウォールも導入しています。高速かつ信頼性、安全性の高いネットワークシステムを構築しています。

サーバシステム

ITセンターには、さまざまなサーバが設置されています。電子メール用サーバ、ホームページ用サーバのほか、履修登録、シラバス、授業支援、就職支援システムなどのサーバがあります。
また、特に研究用として、複数のCPUを同時（並列)に使用して複雑な計算を高速に行うことができるスカラー並列計算機を設置しています。

スーパーSINET（サイネット）

「スーパーSINET」は、文部科学省国立情報学研究所が運営する10Gbpsの光通信技術を用いた研究用インターネットです。先端的学術研究の中心的な研究機関（全国で30機関、うち私立４大学）が超高速ネットワークで接続されています。
関西大学は、「スーパーSINET」の私立４大学の接続拠点の一つに選定されています。これにより、分散型共同研究や大容量データの共用・活用等が可能になり、本学での先端的学術研究の更なる推進が図られ、わが国の先端的学術研究にも大いに貢献することとなりました。

インフォメーションシステム

関西大学から学生への各種お知らせをはじめ、シラバス検索・履修届・成績発表など、学生生活を送る上で必要な各種サービスを利用するためのポータルサイトです。学内はもちろん自宅からも利用できます。このシステムを利用するときにもITセンターの利用者ＩＤとパスワードを使用します。

遠隔授業システム

関西大学では、国内だけでなく海外の大学や研究所などと接続し、遠隔授業を実施しています。そのための設備として、通信衛星を利用したスペース・コラボレーション・システム（双方向通信システム)をはじめ、電話回線やインターネットを使ったビデオ会議システムを整備し、遠隔授業のサポートを行っています。

尚文館１階マルチメディア施設

尚文館(大学院棟)１階には、ITセンターが管理・運用する教員と大学院学生のためのマルチメディア施設として、マルチメディア編集室(各種ビデオ編集システム、録音ブースなど)、マルチメディアスタジオ室(ビデオ撮影システム)、撮影機材(DVビデオカメラ、デジタルカメラなど)、マルチメディアＡＶブース（マルチメディアパソコンのオープン利用）などの設備が整備されていて、授業や研究のためのマルチメディア教材の作成に活用されています。また、マルチメディアAV大教室にはマルチメディア機器が充実して、各種の講演会やシンポジウムなどに活用されています。

Powerful Kan-Dai Life !

新入生歓迎プログラム　てんこ盛り

4月 2・4・5日

5日の尚文館前広場にはトリノ五輪をめざす、織田君が登場！

新入生のみなさん、入学おめでとうございます。期待と不安を胸に大学生活初日を迎えたことと思います。みなさんの中には「大学生活ってどんな感じかな？　どんなクラブ・サークルがあるのかな？　留学に興味あるけどどうしたらいいのだろう？　就職活動ってどのようにするのだろうっ？」など、いろいろな疑問があると思います。

本学では、みなさんのそのような疑問に応え、スムーズな大学生活のスタートを応援するために、学生生活の先駆者でもある先輩たちの体験談を中心に紹介する、新入生歓迎プログラム、略して〝パワkan！〟を四月二日、四日、五日に開催します。

二日の中央グランドでは関大生になったことを実感できるアメフト交流試合があり、また五日の尚文館前広場ではフィギュアスケートで世界をめざす新入生の織田信成さんの公開インタビューがあるなど、見どころがたくさんあるプログラムとなっています。

また、大学生になるとお酒と接する機会も増えてくると思います。そんな時に自分のお酒の適性量とお酒に対する体質を知ってもらう手がかりとなる〝アルコールパッチテスト〟を実施します。アルコールパッチテストは絆創膏を腕に五～十分程度貼るだけの簡単なものです。

新しい環境に一日も早くうちとけ、楽しく充実した大学生活を送ることができるよう、まわりの友達にも声をかけて、ぜひともみんなで参加してください。

学生生活を有意義に、そして楽しいものにするのはあなた自身です。

内容は、「悪徳商法にひっかからないために」、「食生活の大切さ」および「初めての一人暮らしミニ講座」等です。

こちらにもぜひ参加してください。

（学生センター）

4月2日（土）		4月4日（月）			4月5日（火）		
時間	場所	時間	場所		時間	場所	
	中央グランド		BIG100	ソシオ AV		BIG100	ソシオ AV
15：00	関大生を実感しよう／一学歌を歌おう（スポーツデー）●体育会スポーツ行進●アメフット交流試合 関大VS追手門学院大学	16：00	やりたいことを見つけたいン―インターンシップって何？	「留学」しよう／	12：00～13：00	めざせトリノ／「織田信成君（新入生）に聞く」（尚文館前広場）※雨天の場合、BIG100で行います	
		16：30	クラブ・サークルに入ろう（文化会編）		13：30	やりたいことを見つけたいン―インターンシップって何？	クラブ・サークルに入ろう（応援団、放送研究会編）◆アルコールパッチテスト
		17：00	クラブ・サークルに入ろう（第2部編）◆アルコールパッチテスト	やりたいことを見つけたいン―インターンシップって何？	14：00	クラブ・サークルに入ろう（体育会編）	クラブ・サークルに入ろう（学術研究会編）
					14：30	「留学」しよう／	やりたいことを見つけたいン―インターンシップって何？

注1）BIG100は第2学舎（経済・商学部）BIGホール100の、またソシオ AV は第3学舎（社会学部）ソシオ AV 大ホールの略称です。
注2）4月2日（土）の行事は、中央グラウンドで開催しますが、屋外ですので必ず防寒対策を行ってください。また、先着2000人に関大特製 V メガホンを配布します。
注3）どのプログラムも入退場は自由です。

ようこそ関西大学へ！

20th 文化フェスティバル

4月14日～30日　～文化な「ヤツ」らが騒ぐので～

今年も恒例の「文化フェスティバル」が四月十四日（木）～三十日（土）までの約二週間、昼休みを中心に開催されます。

文化フェスティバルは、第1部文化会に所属している全団体が一堂に会し、本学の文化芸術活動の担い手として文化会のより一層の結束を図り、文化会内外にその日常の活動成果をアピールすることをモットーに繰り広げられる一大イベントです。

総合図書館前のメインステージでは、オープニングセレモニーをはじめ、さまざまなパフォーマンスが繰り広げられ、さらに特別講堂での公演、新関西大学会館南棟一階アートギャラリーやメインストリートでの展示等、団体ごとに趣向を凝らした発表が行われます。

文化会全体の統一企画としては、文化会音楽系団体の合同演奏や、伝統芸能系クラブによる和のコラボレーション、そして今年度の新企画として『B1（ぶんわん）』という団体間の対決コーナーや、i－Podや緑茶飲料が当たる「文化大革命キャンペーン」などが行われます。

関西大学第1部文化会総勢二十七団体が総力を結集して開催する文化フェスティバル、またとない機会ですので、ぜひ足を運んでみてください。詳細は、文化フェスティバル実行委員会（誠之館3号館新館一階文化会本部室）まで問い合せてください。

（学生生活課）

学生諸団体の行事予定（4月1日～5月13日）

▶**写真部**
学内展
4／1（金）～5（火）
アートギャラリー

▶**マンドリンクラブ**
大阪学生マンドリン連盟合同演奏会
4／3（日）
大阪厚生年金会館

▶**マスコミュニケーション学研究部**
展示会
4／6（水）
アートギャラリー

▶**落語大学**
新入生歓迎公演
4／16(土)　生協横茶室

▶**演劇研究部「学園座」**
新入生歓迎公演
4／28(木)　特別講堂

▶**ユネスコ研究部**
こどもカーニバル
5／5（祝）　千里北公園

▶**ギタークラブ**
独重奏演奏会
5／13（金）　吹田メイシアター

人権問題の冊子を配布

人間は一人ひとりが異なる個性をもち、それぞれ自分に誇りをもって生きています。誰もが自分自身や家族や友人にとって、かけがえのない存在です。

しかし、残念ながら今でもなお出身・民族・障害・性などを理由とした差別はさまざまな形で存在します。

これらの問題を考えるための冊子『共に生きる』を配布します。読みやすい冊子にするために工夫をしています。新しく関西大学で学ぶみなさん、ぜひ読んでください。

（人権問題委員会委員長　山内　修）

スタンドで声援をおくろう

▶野球部（関西学生野球六大学春季リーグ戦）◀

日程	時間	対戦	場所
4月9日(土)	13:00	近畿大学	神戸スカイマーク球場
4月10日(日)	10:30	近畿大学	神戸スカイマーク球場
4月16日(土)	13:30	立命館大学	西京極球場
4月17日(日)	11:00	立命館大学	西京極球場
4月30日(土)	10:30	同志社大学	神戸スカイマーク球場
5月1日(日)	13:00	同志社大学	神戸スカイマーク球場
5月6日(金)	12:30	関西学院大学	甲子園球場
5月7日(土)	12:30	関西学院大学	甲子園球場
5月14日(土)	10:00	京都大学	南港中央球場
5月15日(日)	12:30	京都大学	南港中央球場

サポーターとして応援に行こう

▶サッカー部（関西学生サッカー春季リーグ戦）◀

日程	時間	対戦	場所
4月3日(日)	14:15	大阪商業大学	舞洲運動広場
4月10日(日)	14:15	同志社大学	宝ヶ池球技場
4月17日(日)	12:00	大阪体育大学	鶴見緑地球技場
4月23日(土)	12:00	関西学院大学	長居第２陸上球技場
4月29日(祝)	14:15	大阪学院大学	鶴見緑地球技場
5月1日(日)	14:15	立命館大学	高槻市立総合スポーツセンター
5月5日(祝)	14:15	阪南大学	神戸総合運動公園
5月7日(土)	14:15	大阪教育大学	鶴見緑地球技場
5月15日(日)	11:30	桃山学院大学	高槻市立総合スポーツセンター

応援に行こう

野球部、サッカー部は今シーズン絶好調で、優勝争いに加わること必至です。多くの仲間と誘い合わせて応援に行こう。

（スポーツ振興課）

図書館の森

歴史的資料、明治期の新聞　ジャーナリズムの源流を探る

春季展

今日「インターネット」が私たちの日常的な情報源になりつつあるが、歴史を遡れば、日本の明治期において「新聞」は社会の出来事を伝える、まさに新たに登場したニュース・メディアであった。また、二十世紀の映像時代を迎えて現在に至るまで「新聞紙」がニュース報道の一翼を担っていることに変わりはない。

今回の春季展示では、本学図書館に所蔵されている新聞ジャーナリズムに関する歴史的資料、とくにオリジナルの新聞紙を中心に紹介し、明治期において新聞がマスメディアとして広く一般化していく過程の一端を確認できればと考えている。

今日の新聞に類似した最初の新聞（大衆新聞）という、性格を異にする二種類の新聞が存在したことである。欧米の新聞での区分でいえば、ブロードシート（高級紙）とタブロイド（大衆紙）に近似するものである。加えて、明治の一時期に現れて消えた「錦絵新聞」は娯楽性を備えたゴシップ中心のユニークなニュース・メディアであり、今日の「写真週刊誌」に通ずるものがあり、新聞が社会的に普及していく際の過渡的なメディアとして存在していた。

大阪発行の小新聞などを含め、明治期の新聞の大まかな流れを紹介する本展が、ジャーナリズムを考える契機になり、さらに図書館の所蔵する歴史的資料へ誘うことになればと思う。

（社会学部教授　吉岡　至）

日本の新聞は、江戸期まで鎖国政策の影響もあり、欧米に比べると未発達であったが、「黒船来航」がひとつの契機となり、海外のニュースを伝える「翻訳新聞」や外国人の経営による「邦字新聞」が発行されるようになる。

日本人による最初の新聞は慶應四（一八六八）年に発刊された『中外新聞』や『江湖新聞』などであり、認可された最初の新聞は明治三（一八七〇）年に創刊された『横浜毎日新聞』である。

明治期の新聞の特徴は、ふり仮名なしの漢文調の大新聞（政論新聞）と、ふり仮名つきの平俗な語りの小新聞の二種類の新聞が発行されていたことである。

交換派遣留学生の春募集

平成18年度

国際交流センターでは交換派遣留学生の募集を年二回実施している（英語および中国語圏の大学は年二回応募することも可能。四月一日から募集開始の春募集のほか、認定留学、夏期語学セミナーに関する説明を次のとおり行う。

「春期　留学ガイダンス」
日時：四月二十七日（水）十二時三十分～十四時三十分
場所：尚文館一階マルチメディアAV大教室（千里山）、TD106教室（高槻）同時中継

（国際交流センター）

大学トピックス

●私立大学学術研究高度化推進事業に六件選定

文部科学省が推進する標記事業において、本学が申請したハイテク・リサーチ・センター整備事業二件、学術フロンティア推進事業二件、社会連携研究推進事業一件、オープン・リサーチ・センター整備事業一件の計六件が選定された。五年間の総事業費は約二十六億円で、建物を含めその二分の一が国から補助される。詳細はホームページにて。

●メキシコ・モレロス州立自治大学との協定を締結

メキシコのモレロス州立自治大学と本学の間で、大学院・学部学生交換に関する協定を締結する。これにより、学生交換交流の協定校は世界の十九の大学となり、また、初めてのスペイン語圏の大学との協定となる。モレロス州立自治大学はモレロス州の州都クエルナバカ市に所在する総合大学であり、市内には外国人向けのスペイン語学校、ラテン文化研究機関等が多く、世界各地から学生が多く集まっている。

●ハワイ大学との国際ビジネスインターンシッププログラムを新規に実施

国際インターンシップ制度の充実を図るため、平成十七年度から協定校のハワイ大学（カピオラニコミュニティ・カレッジ）との提携により、標記プログラムを新規に実施する。実施期間は八月の二週間程度を予定、募集人員は五人、大学院・学部学生を対象とする。標記プログラムは、ウェブスター大学に続き二校目。

●商学部寄附講座（「流通問題特殊講義（物流の変革」）を開講

平成十六年度に引き続き、商学部において専門教育科目として平成十七年度春学期に社団法人日本物流団体連合会による「流通問題特殊講義（物流の変革」）を開講する。講義は社団法人日本物流団体連合会の会員企業・団体の経営トップにより行われる。

●「関西大学社会連携推進本部規程」および「関西大学産学官連携・知財センター規程」を制定

本学における産学官連携事業、知的財産の創造・保護・活用、地域連携活動等の推進を通じ、一層の社会連携を図り、知の創造拠点としての使命を果たすことを目的とした社会連携推進本部の設置に伴い、「関西大学社会連携推進本部規程」および産学官連携・知財センターの運営に関する「関西大学産学官連携・知財センター規程」を制定する。施行期日は平成十七年四月一日。

学園生活を有意義に

新入生歓迎特別行事

入学おめでとうございます。これからの新しいキャンパスライフを前に、勉学への夢、サークルやクラブ活動への夢に心おどらせていることでしょう。

本学ではみなさんが今後四年間の大切な時間を充実して過ごせるように、さまざまな支援体制を整えていますが、まず、新学年の始まりに当たってオリエンテーション期間を設け、学部ごとの案内と各種行事を行っています。

本学では人権問題の重要性を認識し、かねてからその教育、研究に全学をあげて取り組んできました。そこで本学で学ぶことになったみなさんにも、その認識を共有することを願い、「新入生歓迎特別行事」として、人権をテーマとした講演会や映画会を催しています。本年はここに紹介するような内容の催しを行うことになりました。積極的に参加し、関大生としての一体感を共有して、有意義な学園生活の第一歩を踏み出してください。

副学長　小幡　斉

法学部

イラク戦争と国際法秩序

二十一世紀冒頭の現在、国際社会でもっとも注目されているのはイラクの問題だろう。遠く離れた国で行われてきた戦争が自衛隊派遣問題などで日本でも注目を集めてきた。事実、イラク戦争は、国際社会の法秩序にかかわる多くの問題を提起している。

どの国でも国内社会では暴力や殺害は法律で犯罪として禁止されているが、国際社会では国の行う戦争は禁止されているのか、なお許されているのか。国の自衛権という言葉はよく使われる。また、人権の重大な侵害を行っている国、内戦状態や破綻国家の状態にある国に外国が軍隊を送り、人権の回復をはかり、また民主主義を実現させることが許されるのか。ほぼすべての国が加盟している国際連合が国連軍を結成して派遣する場合はどうなのか。こうした問題は国際秩序に直接関係する。イラク戦争とその後の展開を素材にして、これらの法的問題を検討しつつ、法学とくに国際法学の意義を考えてみたい。

【日時】四月二日（土）十三時三十分から
【場所】千里山キャンパス　第1学舎　A200教室
【講師】法科大学院教授　藤田　久一氏

文学部

響き合う言葉

道浦さんはわが国でもっとも有名な歌人の一人である。昭和五十五年出版の『無援の抒情』で第二十五回現代歌人協会賞受賞、歌人近藤芳美氏に師事。『アララギ』の伝統を引き継ぐ歌誌『未来』の選者。著書多数。現在吹田市に居住していて、吹田市の教育委員も務めている。NHK人間講座の講師、NHK歌壇の選者も歴任。

道浦さんは、「ひとを傷つけるのも言葉、優しくなぐさめるのも言葉。いえ、ひとだけではなく、自分を含め、この世界のすべてを結ぶ鍵は、言葉なのでは」という。「太陽は赤い」というのは詩ではない。概念だと。

言葉の大切さについて、その文学性、芸術性、社会性等、多方面にわたり話題が提供される予定。五七五七七の短歌の世界から、新入生が元気になるような話まで多彩な展開が見られるはずである。

新入生のみなさんには、道浦さんと時間・空間を共有できる幸せを味わってもらいたい。

【日時】四月二日（土）　九時三十分から
【場所】千里山キャンパス　第1学舎　A200教室
【講師】道浦　母都子氏

経済学部

「国民」って何だろう——アウシュヴィッツと在日朝鮮人

グローバリゼーションの時代、国境を越える経験は私たちにも身近なものになっている。しかし、「国境を越える」とはどういうことだろう。パスポートとは何だろう。「国籍」とは何だろう。そもそも「国民」とは何だろう。アウシュヴィッツから奇跡的に生還したにもかかわらず、一九八七年になって自殺したイタリア系ユダヤ人プリーモ・レーヴィの研究者として知られる作家・評論家の徐京植さんは、再びアウシュヴィッツを訪れる予定だ。ドイツで生まれ、住んでいたベルギーで一九四〇年に「ドイツ国籍」を理由に拘束され、ドイツに送還された後は、「ユダヤ人」であることを理由にアウシュヴィッツに送られて一九四四年にそこで亡くなった画家フェリックス・ヌスバウムに、「ユダヤ人証明書をもつ自画像」という作品がある。ヌスバウムの作品と生涯を手がかりにしながら、アウシュヴィッツの経験と「難民」の問題を、在日朝鮮人としての立場から考える。

【日時】四月二日（土）十一時から
【場所】千里山キャンパス　第2学舎　E301教室
【講師】作家・評論家　徐（ソ）京植（キョシク）氏

商学部

人間生活とリスク——安全と安心および情報——

リスクの時代である。地震、交通事故、テロ、犯罪、病気、失業、食品衛生問題、環境問題など、今日にあっては人間生活を脅かすリスクが多様化・増大化しており、リスク管理ないし危機管理の重要性が盛んに指摘されている。

この講演では、わたしたちの生活を阻害するリスクについて取り上げ、その本質や現代的特徴をおさえつつ、人間が各自の生活を送るなかでリスクを評価し対処することの重要性と多様性、そして難しさについて考えてみたい。キーワードは、安全と安心、そして情報である。

学生であるみなさんも、一人ひとりが生活の主体であると同時にリスク管理の主体となる。リスク管理は他人事ではない。自分自身の生活にどのようなリスクが潜在し、自分自身はそれらとどのように向かい合うことになるのか。それらを考えるきっかけとして、この講演を位置づけることができればと思う。

【講師】四月一日（金）学部案内終了後
【場所】千里山キャンパス　第2学舎　BIGホール100
【講師】放送大学助教授　奈良　由美子氏

社会学部

手話落語と私——ジャーナリズムと人権

社会学部では、二つの歓迎行事を開催する。ひとつは、産業心理学、社会システムデザイン攻の新入生への、桂福團治さんによる講演と「手話落語」の実演である。桂福團治さんは関西演芸協会長、上方落語協会理事の要職にあり、日本手話落語協会長として手話落語の普及につとめている。手話落語の現在に至るプロセスでの苦心談が中心となる。この行事を機に障害のある人への理解が深まることを期待する。

もうひとつの行事は、社会学、マスコミ専攻の新入生への、鳥越俊太郎客員教授による講演である。みなさんはいずれ講義等をきくことになるが、この講演では「ジャーナリズムと人権」を基調に、具体的な事実を紹介しながら、マスコミの世界を語ってもらう。マスコミに対する新しい視点が生まれればと思う。

【日時】四月一日（金）入学式終了後
【会場】千里山キャンパス　第3学舎　ソシオAV大ホールおよび101教室
【講師】落語家　桂　福團治氏（ソシオAV大ホール）
客員教授　鳥越　俊太郎氏（101教室）

総合情報学部

セクハラ、DVのない社会をめざして

セクシュアル・ハラスメント（性的嫌がらせ）、ドメスティック・バイオレンス（家庭の暴力）という言葉は社会的にかなり認知され、各大学でもセクハラのない快適な教育環境を確保するため防止ガイドラインを作成している。セクハラ防止を規定した改正男女雇用機会均等法と人事院規則、男女共同参画社会基本法、ストーカー規制法、DV防止法が制定され、性差別を許さないという社会システムが着実に構築されつつある。今の若者は、男女平等、差別は許されないことを当たり前のこととして十分に身に付けていると思う。しかし、不況が長期化する昨今、被害の声を上げにくい時代であることも事実である。社会のあらゆる分野で、男女も、大人も子供も、高齢者も障害者も、自分らしく生きることができる社会をめざすために、どのような行為がセクハラ、DVになるか、被害を受けた場合の保護制度はどうなっているか、法律的側面から理解を深めることが重要である。

【日時】四月二日（土）十三時から
【場所】高槻キャンパス　E棟　情報メディアホール
【講師】弁護士　久岡　眞佐代氏

工学部

人と水と環境

水は生物が生きていく上で必須のものである。水は家庭や工場などで利用され、廃水として環境のなかへ出る。その水が再生されてまた飲料水などに使われる。日々の暮らしの中でおいしい水、安全な水がどれだけありがたく貴重なものか、そして水は環境においてどのような役割を果たしているのか、われわれはつい忘れがちではないだろうか。

藤田正憲さんは、大阪大学で今年定年を迎え、四月から本学に客員教授として着任したばかりである。生物環境工学、水質管理工学を専門分野とし、環境問題がとりざたされる以前から水と環境との関係について研究を進めてきたこの道の草分け的存在。本学工学部生物工学科でも平成二年の創設以来ずっと教鞭をとり、この講義から多くの学生が環境工学についての広い知識を学んで育っている。

ソフトで紳士的な語り口から、水についてのおもしろい話がたくさん飛び出すにちがいない。

【日時】四月一日（金）入学式終了後
【場所】千里山中央体育館
【講師】客員教授・大阪大学名誉教授　藤田正憲氏

リードセンターで学ぶ

Extension Need Center

可能性を広げるためぜひ活用を

現代社会は個人の能力と実力が厳しく問われる時代です。新入生のみなさんは、これからの大学生活の中で将来飛躍するための知識や技術を習得することに、強い意欲と期待を持っていることでしょう。

エクステンション・リードセンターでは、一年次生から専門的な資格取得や国家試験合格の実力を養成するため、十五講座を開いています。卒業後の可能性を最大限に広げるため、ぜひ活用してください。

公務員への第一歩

国家公務員一種をめざす人には一年次生から公務員講座、入門講座の受講を勧めます。現役で国家公務員一種試験に合格するための基礎学力を養うことができます。

英語講座で目標別のコースを設定

「英語講座」には、TOEIC®テスト対策・TOEFL®テスト対策の各コースに、それぞれ目標点数別クラスを設けています。

レベル目的に応じた情報処理講座

「情報処理講座」では、初心者のためのパソコン検定四級コースから中級向けのパソコン検定三級、Excel、Wordなど、各種ソフトを使いこなす多彩なコースを開講しています。また、マイクロソフト　オフィス　スペシャリスト、初級システムアドミニストレータ、基本情報技術者などの試験対策コースも開いています。

法律家養成講座

「法律家養成講座」では、司法試験受験や法科大学院（ロースクール）を志望する人のために、法律家に必要な基礎知識の習得をめざす「基礎コース」をはじめ各種の段階的な講座を開いています。

また本年度から司法書士をめざすコースを新設します。

公認会計士・税理士合格をめざす

公認会計士や税理士をめざす人の、簿記検定と「公認会計士入門」「税理士」の三講座を開講しています。

「税理士講座」では必須科目の簿記論と財務諸表論の科目合格をめざし学習します。

高い合格率を誇る各種資格試験対策講座

「宅地建物取引主任者」「総務旅行業務取扱管理者」「通関士」などの資格試験対策講座は、毎年高い合格率を記録しています。また「社会保険労務士」「ファイナンシャル・プランナー（AFP）」「二級FP技能士」「色彩検定講座」などの講座も開講しています。また本年度から「弁理士」をめざす講座を新たに開講するなど、一層の充実を図っています。学生のうちに職業約資格を取得すれば、卒業後の進路選択に大いに役立ちます。

マスコミ志望者にも万全の支援

「マスコミ試験対策講座」では、放送、出版・広告、新聞の業界別クラスを展開し、みなさんのマスコミ就職準備に備えて万全の支援をしています。

いま、受講申込受付中

現在、リードセンター千里山キャンパス事務室（社会学部学舎内）高槻キャンパス事務室、リードセンター事務室（天六キャンパス）では随時受講申し込みを受け付けています。また、四月一日（金）には、新関西大学会館南棟一階インフォメーションロビーでも受講申し込みの受け付けを行います。詳細は講座案内（パンフレット）を参照してください。

問い合わせはリードセンター千里山キャンパス（☎06-6368-0721）まで。

平成17年度関西大学おおさか文化セミナー（前期講座）

総合テーマ「大阪のプロジェクト」

本学と大阪府立文化情報センター共催で、一般社会人を対象に開催します。五月十七日から六月十四日の毎火曜日（全五回、時間は十八時三十分から二十時（九十分）。会場は、本学天六キャンパス。申し込み受け付けは四月五日（火）から。詳細はホームページ（URL：http://www.kansai-u.ac.jp/ex-tension/）を参照してください。

問い合わせは、リードセンター千里山キャンパス事務室（☎06-6368-0721）まで。

関大通信 第325号
平成17年（2005年）４月１日
大阪府吹田市山手町3-3-35
http://www.kansai-u.ac.jp/
次号は５月13日発行の予定です

課外活動よりどりみどり

●アメリカンフットボール部
甲子園ボウルへ部員一丸

私たちは２年連続関西学生リーグ３位の成績を残し、“甲子園ボウル出場”を目標にし練習に励んでいる。

アメリカンフットボールには、足が速いとか体が大きいとか負けず嫌いといった自分の特徴を生かせるポジションがあり、それぞれに誇りを持ち、自分にしかできない仕事で部員全員が同じ目標に向かうスポーツだ。それは選手、それを支えるマネージャーやスタッフも同じである。

全員が本気で取り組むからこそ、勝った感動や負けた悔しさを仲間と共有できる。それがアメリカンフットボールの魅力だ。

私たちはそんな熱い気持ちを持った人の入部を待っている。こんな私たちと一緒に充実した大学生活をすごしてほしい。

（経済学部４年次生　中村　真一）

●ハンドボール女子部
初心者大歓迎

関西大学ハンドボール女子部は、明るく、楽しく、元気よくを目標に、現在１部リーグで頑張っている。

去年は念願のインカレにも初出場し、全国レベルの凄さを体感することができ、また秋季リーグでは、1部リーグで５位という成績も残すことができた。

強豪チームなのでは、と思うかもしれないが、１年次生から４年次生までとても仲が良く、いつも楽しい話が絶えない。普段仲が良いのはもちろん、

練習中には互いに良い所、悪い所を指摘しあえるのも私たちの部の魅力の一つだと思う。経験者の多いクラブだが、初心者でもすぐに馴染める楽しいクラブなので、ぜひ一度遊びに来てください。

（社会学部２年次生　長谷　美香）

●日本拳法部
強くなりたい者 求む

日本拳法とは突き、蹴り、投げなどなんでもありの総合格闘技である。と言うと、いくら格闘技好きな新入生でも後ずさりしてしまうかもしれないが、臆する必要はない。これまで格闘技とは無縁な日々を送ってきた人も気軽に門を叩いてほしい。確実に強くなれることを約束する。

これまで何度も全国優勝をしており、大学から始めたにもかかわらず全国優勝した選手もいるので、関大に入

学した新入生全員にその可能性があるといっても過言ではない。また、近年女子の活躍がめざましく、マネージャーはもちろんプレーヤーも大歓迎である。

われわれが新入生諸君に求めているのは、優れた運動神経などではない。「強くなりたい」という熱い気持ちと決意である。

（法学部４年次生　武山　尚弘）

●バスケットボール部
インカレ出場へ練習励む

私たちバスケットボール部は、現在33人の部員と６人のマネージャーで活動している。

一昨年度のリーグ戦で７年ぶりに１部復帰を果たし、昨年度のリーグ戦では、６位という結果を残すことができた。今年はさらに上位をねらい、インカレに出場すべく日々の練習に励んでいる。

けじめをつける時はけじめをつけ、笑う時はみんなで笑うような仲のいい部で、仲間とともに活動していく中で、授業では学ぶことができないさまざまなことを経験することができる部だ。

バスケットに興味のある人は試合を見にきて、ぜひとも応援してほしい。

（文学部３年次生　市川　香苗）

●応援団
礼儀身につけ 社会で活躍

大学に入学して何をするのかと考えると、勉強、アルバイト、その他いろいろあることと思う。

私たち応援団は「有意義な大学生

活」、「人生最高の4年間」、「かけがえのない仲間」を手に入れることができる団体だ。

応援団と聞くと「厳しい」というイメージを持つかもしれないが、社会ですぐ役立つ礼儀やマナーを身につけることができる。また、さまざまな人と交流が持て、普通の学生生活では体験しえない活動をすることができ、自分の新たな可能性が見つかることだろう。

新入生のみなさん、ぜひ応援団に入団してください。

（社会学部４年次生　金信　裕）

●児童文化実践サークルうぷ
保育園でボランティア

私たちは子どもを対象としたボランティアサークルで、主に週１回の吹田市内の学童保育学級への訪問を活動の中心としている。

訪問先では、自作の紙芝居ペープサート、からだを使うゲームなどを子どもたちに見せ、一緒に遊んでいる。

他にも５月に吹田市主催の子ども野外カーニバルへ参加、８月に関西を飛び出して地方の小学校で合宿公演、３月には普段訪問している学級の子どもたちを大学へ招待して影絵や人形劇、演劇を特別講堂で公演したりしている。さらに保育園や児童センターなどからも依頼を受けて訪問している。

活動の雰囲気を気軽に感じられるように子どもと触れ合う体験の機会も用意しているので、ぜひ一度話を聞きに来てもらいたい。

（法学部3年次生　住谷　健治）

●放送研究会
コトバを創る

われわれＫＢＣ関西大学放送研究会は、昼休み(12:15～12:55)、関大生に向けて放送する音楽番組の制作をはじめ、音声に関するさまざまな活動を行っている団体である。会員はアナウンサー部、ミキサー部、ディレクター部と呼ばれる三つの技術パートのうちのいずれか一つに所属し、それぞれが協力しながら、みな日々せっせと制作活動に励んでいる。

ここには色々な人間がいる。音楽が好きな人、音響機材に詳しい人、喋ることが好きな人。さまざまな個性が集まり、そこから生み出される番組も、みんな個性的だ。昼休み、少し弁当を食べる箸を止めて、ちょっとだけ耳をすませてみませんか。そこに、私たちの創ったコトバがある。

（社会学部３年次生　木曽田　太郎）

●英語研究部（第２部）
日本で唯一 中学生に英語教育

新入生のみなさん、入学おめでとう。関大ライフを満喫するなら、まずクラブに入部することを勧める。

学生生活を無駄にしないためには、

課外活動をするに限る。理由などはない。とにかく充実した大学生活が送れるのだ。その一点に尽きる。

ちなみに、私が所属している英語研究部(第２部)は、「サマースクーリング」という日本で唯一の活動をしているクラブである。それは夏休みを１週間利用し、中学生に英語を教える活動だ。

教員志望の人や、スキルを上げたい人や、単純に遊びたい人までいろんなメンバーで活動している。真実は一つ。楽しい。

（経済学部４年次生　吉倉　秀和）

●アウトドアサークル「ＦＥＥＴ」
楽しく自然体験

FEETは昨年設立したばかりの新しいサークルで、高槻キャンパスの３年次生が中心になって春は花見、夏はバーベキュー、冬はスノーボードと季節に合わせてあれこれのイベントを「楽しく」をモットーに行っている。

高槻キャンパスは近くに摂津峡という景勝地があり、少し足をのばせば自然を満喫できる絶好の位置にある。

ここは蛍の保護区域にもなっていて毎年６月ごろには蛍がたくさん見られる。その景色は本当に綺麗で、まるで別世界に来てしまったような気さえする。

そうした自然を身近に感じることによって環境意識も高まる。人それぞれ大学生活を通して得るものはたくさんあると思うが、自然と触れあい仲間と騒ぎながら大学生活を充実させるのも悪くない。新しいサークルFEETを一緒に作っていきませんか。

（総合情報学部４年次生　米田　貴）

●吟詩部
他大学と交流活発

吟詩部では漢詩に音節をつけて歌い上げる「詩吟」や詩吟にあわせて日本刀や扇を使いながら舞う「剣舞」「扇舞」の練習、発表を行っている。詩吟で吟じられる漢詩は中国の有名な詩人やみなさんがよく知っている日本史上の人物が作ったものなど、さまざまだ。

練習は毎週師範の先生から大学で指導を受けている。師範練習以外の日は個人練習や

上位年次生との対面練習を主に行っている。授業の空き時間や練習の後は部員同士で食事をともにしたり、遊びに行ったり、和気あいあいと楽しくやっている。また私たちの部では、詩吟を通じて他大学との交流も行っている。夏には他大学とのキャンプ、秋から冬にかけては全国のクラブの発表大会に参加できるので、全国に友だちの輪が広がる。興味のある人はぜひ一度部室をのぞいてみてほしい。

（法学部４年次生　渡辺　陽介）

▶編集後記◀

この記事が出る頃には、キャンパスでは、満開の桜が新入生のみなさんを歓迎していることと思う。毎年この季節の関西大学のキャンパスは、本当に美しく、人の心を晴れやかにしてくれる。まずは新入生のみなさん、入学おめでとう。

大学では、成績が個人の能力を判断する尺度の一つではあるが、それがすべてではない。最終的な目標は、総合的にすぐれた人間を形成することである。それ故、自分の授業にだけ出席するのではなく、他の学部や学科の授業、図書館、博物館、今号で特集しているＩＴセンターなどを、幅広く活用してほしい。さらに、クラブ、サークル活動にも積極的に参加して関大ライフを有意義なものにすることを期待している。（原　武久）